

第89回福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成23年4月13日（水） 19:05～19:18
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）最新の被害状況について【災害対策本部より】

事務局：（第105報のとおり説明）

- ・ 前回より死者1名増。住家被害については、郡山市で調査が進んだため前回と比べかなりの増となっている。
- ・ JR常磐線については四倉駅～いわき駅間が4月17日再開予定。いわき駅～高萩駅間は本日再開。
- ・ 都市ガスについては、いわき市で2,336戸供給停止しているが、前回より約1万戸減となっている。
- ・ 水道については、いわき市などで72,240戸で断水しているが、前回より3万戸減となり、45%が回復している。

（2）モニタリング結果について

生活環境部次長（県民安全担当）：（別紙モニタリング1～3のとおり説明）

- ・ 数値はいずれも若干の低下傾向又は横ばい傾向が続いている。

（3）水道水中の放射性物質検査結果について

保健福祉部長：別紙資料により説明

- ・ 4/11に採取した水道水は、いずれも乳児による飲用基準を下回った。
- ・ 4/11に採取した中通り・浜通り地方の水道水は、いずれも放射性ヨウ素及び放射性セシウムは検出されなかった。
- ・ 4/12に採取した中通り・浜通り地方については、飯舘村田尻浄水場からの水道水以外は、いずれも放射性ヨウ素及び放射性セシウムは検出されなかった。
- ・ 4/10に採取した会津地方の水道水は、いずれも放射性ヨウ素及び放射性セシウムは検出されなかった。

(4) モニタリング結果について

生活環境部次長（県民安全担当）：（別紙モニタリング1～3のとおり説明）

- ・ 昨日から4日間の予定でスタートした環境放射線モニタリング調査について、 $10\mu\text{Sv/h}$ を超過した地点については資料のとおり。
- ・ 公園や生活道路などで調査している。
- ・ 4/12に調査した705地点すべてのデータについては本日公表予定。

(5) 工業用水路について

企業局長：

- ・ 磐城工業用水の常磐線については4/14、大剣線については4/15、磐城線については4/18に、それぞれ通水試験を行い本格給水をする予定であったが、余震により大きな漏水箇所が1箇所確認されたため、3線とも4/18に通水試験を行い、問題がなければ本格給水するよう予定変更する。

(7) 福島県産農産物の販売促進について

農林水産部長：別紙資料により説明

- ・ 安全が確認された県産農産物の販売促進については、4月上旬からがんばろうふくしま応援店を募集しているが、約10日間が経過した昨日現在で、県内から134件の届け出がある。青果、精肉店などの小売店や道の駅、直売所、県内展開スーパーの県内全店舗などから多くの届け出をいただいている。会津63件、県南36件、県北17件、県中16件など。
- ・ さらに、県内で展開しているスーパーにおいて、安全が確認された農産物を展示するコーナーを設置する動きも拡大している。
- ・ こうした状況を踏まえ、がんばろうふくしまフェア第3弾を企画するなど、本県の安全が確認された農産物の販売促進に向けてさらに展開していきたい。

(8) 知事から

知事：

- ・ 本日、菅総理大臣が、そこに当面住めないだろう、10年住めないのか、20年住めないのかという話になってくるとい一部報道があった。我々はこの1ヶ月間、1日も早くふるさとに戻ってもらいたいと苦労しているのに、その報道はとても信じられない。とにかく被災者の皆さんが1日も早く帰れるように全力でがんばっていこう。